

子どもの急病

「こんな時どうすればいいの？」



編集・発行

兵庫県中播磨健康福祉事務所

監修

姫路市医師会

神崎郡医師会

協力

姫路市

はじめに

夜間、休日など通常の診療時間外に、
急にお子さまの具合が悪くなったときの診療ガイドです。
参考にして適切な診療を受けましょう。



緊急度は3段階としました



とりあえず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ（ただし、連休・年末年始などで、翌日までに良くならない場合は休日夜間急病センター（P23参照）を受診してください）



小児救急医療電話相談窓口（P25参照）に相談するか、休日夜間急病センターへ行く（救急車を呼ぶ必要はない）

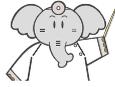


迷わず救急車を呼ぶ

もくじ

1. 救急車を呼ぶ時	P 1
2. 発熱(38 以上の熱が出た)	P 3
3. せき、喘鳴、息苦しい、呼吸が変	P 5
4. 嘔吐、下痢	P 7
5. 腹痛	P 9
6. けいれん	P 11
7. じんま疹、虫さされ、急に出現する発疹(皮膚のぶつぶつ)	P 13
8. やけど	P 15
9. 誤飲、誤嚥(変なものを食べた、飲み込んだ)	P 17
10. 頭部打撲、転倒、転落	P 19
11. 鼻出血	P 21
12. 不機嫌、泣き方が気になる	P 22
姫路市休日・夜間急病センター利用について	P 23
小児救急医療電話相談、こどもの救急ホームページのご案内	P 25





こんな時どうすればいいの

1 救急車を呼ぶ時

救急車以外に搬送の手段がなく、緊急に医療機関へ搬送しなければならない場合は、迷わずすぐに救急車を要請してください。

救急車を呼ぶ状態は、二次病院(中等症)または三次病院(重症)への受診が必要な場合ですが、休日夜間急病センター(軽症)で対応できる病状もあります。判断は救急隊に任せてください。

**こんな時は緊急を要する状態です
迷わず救急車を呼んでください**



緊急度
3

意識がおかしい、呼んでも反応しない、意識がない
呼吸が弱い、呼吸ができない(呼吸困難が著しい)、呼吸をしていない
チアノーゼがひどい(唇の色が紫色)
大量の出血・吐血・下血(血便)
お腹がパンパンに張って、意識がおかしい
股の付け根、陰のう部が腫れて色が変わっている、不機嫌、元気がない
41.5 以上の発熱

救急車の呼び方

- 次の要領で通報してください -

1	119番にダイヤルする
2	「火事ですか？ 救急ですか？」 ▶ 「救急です」と答える
3	「どうされましたか？」 ▶ 子どもの様子を伝える
4	「住所・氏名を教えてください」 ▶ 町 番地の です (近くに目印となる ものがあれば説明する)
5	電話を切ってよいか確認 してから、電話を切る

119番
通報センター

通報者

救急車が到着するまでにすること

- 1 処置の指示があれば、それを行う
- 2 協力者がいるときは、外で救急車の誘導をしてもらう
- 3 健康保険証・母子手帳・お金(診察代・帰りのタクシー代など)・診察券を用意しておく

お願い

救急車の適正な利用をお願いします。
救急車の利用ルールとマナーを守りましょう。

(参考)姫路市・神崎郡における小児科の救急医療体制の流れ

一次医療機関(軽症)	兵庫県小児救急医療電話相談(#8000) 姫路市救急医療電話相談(小児科) (079-292-4874) 姫路市休日・夜間急病センター
二次医療機関(中等症)	姫路赤十字病院、姫路聖マリア病院
三次医療機関(重症)	県立こども病院、神戸大学附属病院、 兵庫医科大学病院



こんな時どうすればいいの

2 発熱(38 以上の熱が出た)

緊急度
2

3 か月未満の乳児の発熱

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

3か月未満の赤ちゃんの38 以上の発熱は、この時期の赤ちゃん
には、重症であっても症状が目立たないことがあるからです。

3 か月以上の乳幼児の発熱

元気がない、活気がない、ぐったりしている
12時間以上おしっこがでない
よく眠れず、ぐずついている
呼吸がハーハーハーと苦しそう
水分を取るのを嫌がる

緊急度
1

上記症状がなければ

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

緊急度
2

上記症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください



発熱時の対処方法

熱の出始めは温かめに、熱が出きったら涼しく
暑そうなら涼しく、寒そうなら温かく
水分補給をこまめにしましょう
着替えもこまめにしましょう
気持ち良さそうなら、冷やしてあげましょう
熱があっても元気そうなら、解熱剤は使わない
解熱剤は6か月未満の赤ちゃんには使わない



一口メモ

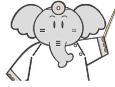
発熱について

38 以上の場合は熱があるとみなします。38 未満の場合は必ずしも意味のある発熱ではありません。

発熱は身体の中に何かが起こったことを知らせてくれるサインです。熱そのものが身体に悪さをするとはい考えられていません。

発熱は身体を守ろうという正常な反応です。

熱だけで脳が障害を受けることはありません。ただし、41.5 以上の高熱は熱そのものが身体に有害な場合があります。(救急車を呼ぶ)



こんな時どうすればいいの

3 ^{ぜん めい}せき、喘鳴、息苦しい、呼吸が変

声がかすれる
オットセイの啼き声みたいにせき込む
ゼーゼー、ヒューヒューいう
息苦しそう、呼吸がはやい
横になる（仰向けにする）と症状が強くなる
くちびるが紫色（チアノーゼ）
ぐったりして、水分を取りたがらない
発赤・じんま疹を伴う

緊急度
1

上記症状がなければ

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

緊急度
2

上記症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口（P25参照）に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください





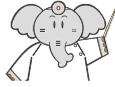
一口メモ

こんな咳の時は、クループ症候群(急性喉頭炎)を疑います

息を吸うときにゼーゼーとなり、声がかすれ、オットセイの啼き声または犬の遠吠様のせき込みが特徴。普通は、夜間から明け方にひどくなります。苦しそうなときは、座位をとり十分な加湿を与えてください。

原因の多くはウイルスですが、細菌感染症の場合もあります。

苦しそうなときは、すぐに受診してください。



こんな時どうすればいいの

4

おうとげり
嘔吐、下痢

緊急度
2

生後3か月未満の乳児

嘔吐または下痢、もしくはその両方を繰り返す

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください



一口メモ

嘔吐・下痢の時に適した「経口補水療法」

嘔吐・下痢で失われた水分を補給することが必要です。水分・塩分・糖分を適切に補える経口補水液は吸収が早く脱水を改善します。

少量ずつ何回にも分けて与えてください。

経口補水液(OS-1)として市販されています。

生後3か月以上の乳幼児

おなかが張っている
血液や胆汁を吐く
便に血が混じる
激しい痛み、元気がない
12時間以上下痢が何度も続いている
くちびるが乾いている
12時間以上おしっこが出ない
目がくぼんでいる
頭痛を訴え、ボーッとしている
ちょっとした刺激に過敏に反応する
発熱(38以上)を伴う

緊急度
1

上記症状がなければ

とみえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時まで待つ

緊急度
2

上記症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください





こんな時どうすればいいの

5 ^{ふく つう} 腹痛

緊急度 1 次の症状だけなら

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

数日、便が出ていない
おへその周りを痛がる
がまんができる程度の軽い痛み
元気そうだ



緊急度 2 次のような症状が一つでもあれば

**すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください**

血便がみられる
不機嫌が続く、10分おきくらい(間欠的)に苦しそう
痛みがだんだんひどくなる
がまんができない
2時間以上持続する
さわると嫌がる
発熱(38 以上)を伴う

緊急度
3

次のような症状が一つでもあれば



迷わず救急車を呼んでください

お腹がパンパンに膨らんでいる
股の付け根、陰のう部が腫れて色が
変わっている

一口メモ

腸の中に腸が入りこむ病気「腸重積」

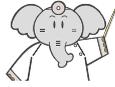
腸重積症は、望遠鏡の筒のように腸が腸の中に入りこみ、腸閉塞を起こす病気。主に、3～4か月から1～2歳の子どもに見られます。

突然、陣痛の様に周期的(5～15分ごと)に苦しそうに不機嫌に泣き、これを繰り返します。顔色が悪くなったり、吐いたりすることがあります。

おむつを開けてみると、いちごジャムのような真っ赤な血便が……。こんなときは、まず腸重積症と違って間違いありません。

治療の基本は、高圧で空気や薄いバリウムを肛門から入れ、重なり合った腸を元に戻します。24時間以内であれば、多くの場合は手術をしなくても大丈夫です。しかし、どうしても元に戻らないときは緊急手術を行います。

すぐに、休日夜間急病センターを受診してください。



こんな時どうすればいいの

6 けいれん

緊急度
1

次の症状だけなら

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

すでに診断がついており、今までに
何度か起こったことがあるけいれん発作
けいれんかどうか分からない、
今は落ち着いている

緊急度
2

次のような症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

けいれんは止まったが5分以上続いた
はじめてのけいれん
生後6か月未満の乳児
6歳以上の小児
けいれん時の体温が38 以下
だった(無熱けいれん)
けいれんに左右差がある
嘔吐、失禁を伴う
何度も繰り返しけいれんが起こる



緊急度
3

次のような症状が一つでもあれば

迷わず救急車を呼んでください



けいれんが10分以上続いている
けいれんが止まっても意識が変
呼吸が弱い。チアノーゼ(唇の色が紫色)が続く
激しい頭痛を訴える

あわてないで落ち着いて、けいれんの様子を観察して対処してください

観察のポイント

いつから、どんなけいれんが、何分くらい続いたか
右半身、あるいは左半身だけのようないけいれんで、左右差はないか
体温を計ってください

対処・介護

揺さぶったり、たたいたりしない
吐くことがあるので、誤嚥しないように顔を横に向け、衣服をゆるめる
口の中に割り箸や指を入れない(嘔吐による窒息防止)

一口メモ

泣き入りひきつけ

子どもが泣き入り、息を吸い込んだまま息を止める。唇は紫色を呈し、身体が硬直、一瞬気を失う。

まずは落ち着かせる。体を揺すったり、騒ぎ立てたりしない。普通は、まもなく呼吸を始めます。顔に息を吹きかけてやると早く呼吸を再開します。

意識が戻らない場合は救急車を呼んでください!!



こんな時どうすればいいの

7

じんま疹、虫さされ、
急に出現する発疹(皮膚のぶつぶつ)

緊急度
1

緊急度 2 の症状がなければ

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

ウイルス(突発性発疹、麻疹、風疹、
水痘、リンゴ病など)や細菌(溶連菌)
による発疹は、水分がとれて機嫌も
よければ、緊急度1です。

緊急度
2

次のような症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

痒みを伴って、盛り上がった赤い
リング状の皮膚 じんま疹を疑う
暗い紫色の小さな点々(紫斑)の出現に
腹痛・関節痛を伴う 血管性紫斑病を疑う
高熱が続き、頸部リンパ節の腫張や
不定形の発疹が出現 川崎病を疑う

緊急度
3

次のような症状が一つでもあれば



迷わず救急車を呼んでください

全身の赤い斑状の皮膚（じんま疹）に伴って
不穏状態、ぐったりしている
眼瞼のむくみ、顔面や頸部の腫張
息苦しい、声が出ない



一口メモ

救急車を呼んでください！「アナフィラキシーショック」

アナフィラキシーは、薬剤（注射）、昆虫（ハチなど）による刺傷、特定の食物の摂取などによる重篤なアレルギー反応です。

ふつうは数分以内に、全身発赤・じんま疹が出現し、重篤な場合はショック症状を呈し、呼吸困難を起こします。



こんな時どうすればいいの

8 やけど

比較的小さい範囲のやけどの場合

緊急度
1 こんな場合は

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

範囲は比較的小さく、赤いだけで
水ぶくれはできていない

緊急度
2 次の場合は

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

子どもの手のひら10個くらいより
小さいが、水ぶくれができています

傷の手当てが必要です。
手当が可能な医療機関を
受診してください。



大やけどの場合



緊急度
3

迷わず救急車を呼んでください

子どもの手のひら10個くらいより広い
範囲のやけど
皮膚が黒く焦げていたり、白くなっているとき

子どもの全身管理とやけどの手当が可能な病院の
受診が必要です。救急車を呼んでください。

応急処置・手当

まずはとにかく冷やす
流水（水道水）ですぐに冷やす
衣服は脱がさずそのまま冷やす
最低20～30分は冷やす
水ぶくれはやぶらない
なにも塗らない

一口メモ

事故を防ごう！「やけど」は事故です

やかん・湯沸かし器の置き場所。
食卓上の熱湯：食卓にはテーブルクロスは使わない。
お風呂の湯は沸かしすぎない。
子どもの頭より高いところで熱いものを運ばない。
ストーブの位置。



こんな時どうすればいいの

9

誤飲、誤嚥 (変なものを食べた、飲み込んだ)

応急処置をする前に、確認すること

「何を」、「どれくらい」、「いつ」を確認する
すぐに吐かせるものと、吐かせてはいけないものがある！
害にならないものがある

※ 処置・対応の方法は

(財) 日本中毒情報センターで相談できます

(財) 日本中毒情報センター

中毒110番・電話サービス

(情報料無料、一般市民向け)

大 阪 072-727-249ㄨ(365日 24時間)

つくば 029-852-999ㄨ(365日 9時~21時)

タバコ専用電話

(情報料無料、テープによる一般市民向け情報)

大 阪 072-726-992ㄨ(365日 24時間)

緊急度
1

次の場合は、自宅で様子を見てください

化粧品

マッチ

体温計の水銀

シャンプー

クレヨン

保冷剤

石けん

シリカゲル

植物活力剤



次の場合は

すぐに左記の中毒110番または、小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

緊急度
2

1) 吐かせてはいけないもの

何を飲んだか分からない マニキュア・除光液
ボタン電池 洗剤・漂白剤
コイン しょうのう(樟脳)
灯油・ベンジン

これらの物質は、吐かせると食道粘膜を傷めたり、薬剤性の肺炎を起こしたりすることがあり危険です。

2) すぐに吐かせるもの

タバコ ほう酸団子 ナフタリン・パラジクロルベンゼン
大量の医薬品



次のような症状が一つでもあれば、

緊急度
3

迷わず救急車を呼んでください

意識がおかしい
呼吸が弱い、急に咳き込んで息苦しそう
顔色が悪い、チアノーゼ

一口メモ

最も多い子どもの誤飲は「タバコ」です

致死量はタバコまるまる2本です。

まるまる1本は食べられません。味が悪く、また胃で吸収する前にニコチンの作用で吐いてしまいます。しかし、水やジュースに浸したタバコは吸収が早く危険です。すぐに吐かせてください。

吐かせ方:舌の奥を下に押しつける。濃いぬるいお茶を作り、くり返し飲ませては吐かせる。(胃を洗いタバコを出し、お茶のタンニンでニコチンを中和する。)

牛乳や水は飲まさないでください。ニコチンの吸収を速めます。

タバコの管理と灰皿の始末を厳重にしてください。



こんな時どうすればいいの

10

とう ぶ だ ぼく てん どう てん らく
頭部打撲、転倒、転落

緊急度
1

緊急度 2 の症状がなく、大声で泣けばひと安心

とりあえず自宅で様子を見て、
かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

すぐに泣いたが眠ってしまったら、
1時間後に一度起こして意識状態をみてください。

緊急度
2

次のような症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口 (P25参照) に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

受傷直後に1分以内の一過性の
意識消失があったが回復した
頭部に血腫 (たんこぶ) がある

緊急度
3

次のような症状が一つでもあれば

迷わず救急車を呼んでください

意識がおかしい
けいれんを起こしている
吐く、顔色が悪い
意識はあるが、反応が鈍い、ウトウトしている
目や耳から出血している



緊急度
3

医療機関を受診後も、
12時間は状態を観察してください

変化があれば

救急車を要請してください



観察のポイント

意識の状態（レベルの低下、過度の睡眠）
3回以上の頻回嘔吐
強い頭痛が続く
歩行障害
けいれんの出現



一口メモ

一過性意識障害（脳震とう）

脳が強い力で揺されると脳震とうを起こします。この場合、数分以内の意識消失、めまいや吐き気、軽く頭痛を訴えることがあります。

頭部打撲後は安静にして、打撲部を冷やしてください。意識消失は数分で完全に回復します。しかし、数時間は意識状態に問題がないかを観察してください。



こんな時どうすればいいの

11 鼻出血

まずは次のことを試してみましょう

血液を飲み込まないように、下を向けさせます
鼻の中に何も入れないで、鼻翼（小鼻）
全体を深くつまみ、鼻中隔を圧迫する
鼻呼吸ができない状態で、約15分間
持続的に圧迫する

緊急度
1

止まれば受診の必要はなく、自宅で様子を観察してください

緊急度
2

止まらない場合は、すぐに小児救急医療電話相談窓口
（P25参照）に相談するか、休日夜間急病センター
（なお、耳鼻咽喉科の診察は休日9時～18時のみです。）
を受診してください

一口メモ

鼻出血看護の注意点

上を向いて寝ると：血液がのどに流れ落ちてきて、咳や、吐き気の原因になります。

首の後ろをたたくと：かえって出血を長引かせます。

鼻の中にティッシュペーパーを入れると：鼻の粘膜を傷つけたり、取り出すときに固まった血液のかさぶたをはがしたりすることとなり、再び出血することがあります。

飲み込んだ鼻血を吐いた場合、胃など消化管からの出血と間違っていることがありますが心配ありません。

12 不機嫌、泣き方が気になる

緊急度
2

次のような症状が一つでもあれば

すぐに小児救急医療電話相談窓口(P25参照)に
相談するか、休日夜間急病センターを受診してください

3か月未満で発熱を伴う
熱はない、体温が低く感じる
または36 以下の低体温
間欠的(10分とか20分おき)に激しく泣く、吐く
股の付け根や、陰のう部が腫れている
活気なく、ぐったりしている
眠りがち、哺乳しない
何かいつもと違う、不安だ

一口メモ

赤ちゃんの「夜泣き」どうしたらよいでしょう？

日中は機嫌もよく、哺乳も良好な赤ちゃんが、毎晩きまって泣き出すことがあります。生後3~4か月頃よりみられ、1歳6か月頃まで続きます。

原因は？

のどが乾いた？暑い？おむつがよごれた？不安？興奮？などが考えられますが、原因をつかめないことが大部分です。

どうすればよいでしょう？

背中をさすったり、子守唄を歌ったり、安心感を与える。日中に活動的な遊びをさせる。あきらめて、赤ちゃんにつき合う、居直って無視するのも方法です。

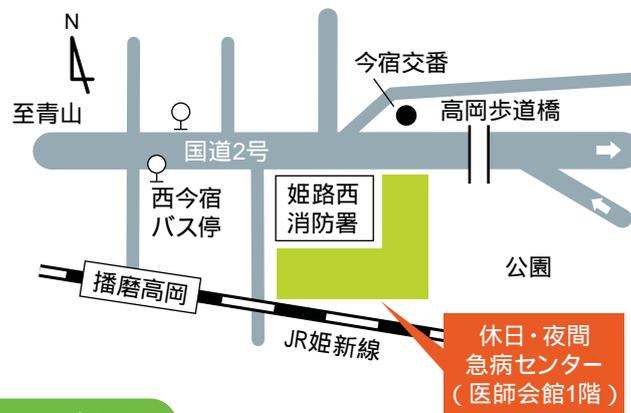
姫路市休日・夜間急病センター利用について

所在地

姫路市休日・夜間急病センター

〒670-0061 姫路市西今宿3丁目7番21号(姫路市医師会館1階)

電話 079 - 298 - 0119



利用のご案内

休日・夜間急病センターは、突発的な腹痛や発熱など、急病患者の応急処置を行う初期救急医療機関です。

診察の結果、重症急病患者については後送できる病院を輪番で確保しています。

診療体制

	夜間急病のとき	休日（昼間）の急病のとき
診療科目	内科・小児科	内科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科
診療時間	午後9時～翌日午前6時	午前9時～午後6時
診療日	年中無休	日曜日・国民の祝日 お盆(8月15日) 年末年始(12月31日～1月3日)

急病センターを利用されるにあたって

夜間、休日昼間とも応急処置のみ行います。
詳しい検査などはできません。
外科、整形外科、歯科の診察はできません。



受診についてのお願い

急病センターは休日・夜間の急病に対する施設です。休日・夜間などの一般診療所ではありません。

「昼間あるいは数日前から具合が悪かった」と訴える方が多いようですが、「体の調子がおかしい」と感じたら、早めにかかりつけの医師または近隣の医療機関で、診療時間内に受診してください。急病センターは一時的に痛みの軽減、解熱効果を上げるなどの応急処置を目的としています。

原則として、投薬期間は通常1日分としています。診療を受けた翌日は、必ず「かかりつけの医師」または「近隣の医療機関」で十分な治療や検査を受けてください。

受診するときは診療に必要な情報を医師にお知らせください。

平熱と現在の熱、いつから具合が悪くなったか、薬によるアレルギーの有無、妊娠の可能性など。特にお子さまの場合は、身近な方の観察データが重要になります。

受診するときは、健康保険証、医療費受給者証（老人医療、乳幼児医療など）、受診料金などを忘れないでください。

医療費受給者証がある患者さんは、必ず健康保険証と一緒に窓口に出してください。医療費受給者証だけでは健康保険の取り扱いとなりません。

小児救急医療電話相談

子どもの急病、けが等でお困りのときは、お気軽にご相談ください。
看護師が相談に応じる小児救急医療電話相談窓口を設置しています。

兵庫県小児救急医療電話相談

電話番号 **# 8000**

市外局番が06または072、ダイヤル回線、IP電話の方は

078 - 731 - 8899

(ははきゅうきゅう)

相談時間 月～土曜日 18時～24時
日曜祝日及び年末年始 9時～24時

看護師がご相談に応じます。
また、必要に応じて医師が対応します。



姫路市救急医療電話相談（小児科）

電話番号 079 - 292 - 4874
(ふくつう しんぱいなし)

相談時間 月～土曜日 20時～24時
日曜祝日及び年末年始 9時～18時、20時～24時
看護師がご相談に応じます。

こどもの救急ホームページ（社団法人 日本小児科学会）

夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、
判断の目安を提供しているホームページです。
対象年齢は、生後1か月から6歳までのお子さんです。

こどもの救急ホームページ

URL <http://kodomo-qq.jp/>



この冊子は兵庫県中播磨県民局「地域の夢推進費」で作成しています。(平成24年3月)

23中播 P2 - 11A5